

給食だより 1月



1月のきゅうしょくもくひょう
しょくじのマナーをみにつけよう

令和5年 1月 10日
清瀬市立清瀬第三小学校
校長 水野 恵美子
栄養士 杉本 千香子

全国学校給食週間

1月24日～30日は全国学校給食週間です。日本の学校給食は、明治22年に山形県の小学校で、貧しい子どもたちへ昼食を無料で提供したのが始まりとされています。その後、戦争などの影響で中断されましたが、戦後、支援物資により給食が再開されました。三小では、この期間に都道府県の郷土料理を提供します。



明治22年の給食「おにぎり、塩ザケ、漬物」

昭和22年 (1947年)	●給食が再開される 昭和21年12月24日、東京都内の小学校でアメリカより給食用物資の贈呈式が行われ、昭和22年1月から全国約300万人の児童に対して、脱脂粉乳や缶詰などを用いた給食が始まりました。 ★当時の給食「ミルク、トマトシチュー」	
昭和25年 (1950年)	●パン・ミルク・おかずの「完全給食」に アメリカから贈られた小麦粉を使い、パン・ミルク（脱脂粉乳）・おかずがそろった給食が実施されるようになりました。 ★当時の給食「コッペパン、ミルク、カレーシチュー」	
昭和38年 (1963年)	●ソフトめんが登場、 脱脂粉乳から牛乳へ ソフトめんが学校給食に採用され、メニューの幅が広がりました。また、昭和39～43年にかけて、脱脂粉乳から牛乳へと切り替わりました。 ★当時の給食「ソフトめんミートソース、牛乳、フライポテト、桃缶」	
昭和51年 (1976年)	●米飯給食が正式に始まる パンが中心の給食から、少しずつ米飯給食が増えってきました。当初はご飯を炊くための設備が整わず、月に数回程度の実施でしたが、米飯給食は子どもたちに大好評でした。 ★当時の給食「カレーライス、牛乳、塩もみ、ゆで卵」	

1月の献立紹介

1月も米粉パンが登場します！（16日）



清瀬市は、東京都の「TOKYO JAPAN 米粉パンを食べよう！」キャンペーンの呼びかけに応じ、学校給食において提供しているパンの一部を米粉パンに変更することになりました。1月は米粉コッペパンを「ごまきな粉揚げパン」にします。いつもよりもっちりとした食感の揚げパンは絶品です！

お正月献立

10日 ラッキースター入り冬野菜カレーライス



年の初めの運試し！カレーの中に星形のにんじんを一クラス3個混ぜます。当たった人は、今年一年良いことがあるかも！

11日 七草入り卵雑炊

1月7日は人日（じんじつ）の節句です。一年間の無病息災を願い、七草粥を食べます。給食では、せり・すずな・すずしろを使います。



11日 チーズもち

1月11日は鏡開きです。鏡開きはお正月にお供えしたおもちを割って食べる日です。「割る」「切る」は縁起が悪いため、「開く」という言葉が使われています。



15日 白玉ぜんざい

1月15日は小正月といって、お正月の終わりの日です。小正月の朝には小豆粥を食べる習慣があります。給食では朝から小豆を煮て、手作り白玉と合わせます。



本校ホームページに給食の情報を掲載しています！

トップページから [清瀬第三小学校 給食室](#) をクリック。

毎日の給食写真・献立が見られます。

その他、給食だよりや献立表も同じページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

